

※これより以下の文章は、自動翻訳を使用しています。不十分な日本語があるかと存じますが、ご容赦ください。

[お使いのブラウザでこのメールを見ます](#)

KNOW MORE.
ACT BETTER.
LEAD TOGETHER.

DARING
CITIES
2023



NACHHALTIGKEIT.
SUSTAINABILITY.
DURABILITÉ.
BONN.

今週 Daring Cities 2023 のスケジュール

9月26日 16:00-17:00 CEST

シティ・フードの10年:都市の食料システムを人々、景観、気候に貢献するものにする

持続可能でレジリエントな食料システムに向けて、都市はどのように公正かつ公平な移行を促進できるのでしょうか?ICLEIのシティ・フードプログラムが10周年を迎えるにあたり、このイベントではヨーロッパ、アフリカ、ラテンアメリカの都市代表者を迎え、都市が食料システムを変革し、ボトムアップで気候変動対策を推進するために活用できるさまざまな手段について話し合います。

ONLINE EVENT

10 YEARS OF CITYFOOD

Making urban food systems deliver for people, landscapes and climate

26 September
16:00 UTC+2

[ここに登録](#)

9月28日 15:00 - 16:00 CEST

都市における自然を活用した解決策(Nbs)への資金調達 - 土地ベースのファイナンスで仕事を成し遂げる

都市は気候変動に適応する必要があるため、市街地の湿地の復元など、自然を活用とした解決策に焦点を当てています。このような解決策には多額の費用がかかりますが、環境と住民へのメリットを考えれば、投資規模に正当化することができます。

このセッションでは、土地ベースの融資の可能性と、このアプローチを取り巻く制約や課題を克服する方法を探ります。



ONLINE EVENT

FUNDING NATURE-BASED SOLUTIONS IN CITIES:
Land based finance to get the job done

28 September
15:00 UTC+2

[ここに登録](#)

9月29日: 公正かつ公平な気候非常事態への対応に向けた研究とイノベーション

10:00 - 11:00 CEST

セッション I: 人間のニーズに基づく変革的イノベーション

公平かつ公正な方法で気候危機に対応するには、地域社会の人間のニーズに応えるシステムティック・イノベーション・アプローチを適用しなければならない。このイベントに参加して、広範な規模で考案・実施される画期的なソリューションの創造と導入を促進する、開発へのシステムティックなアプローチについて学びましょう。



ONLINE EVENT

RESEARCH & INNOVATION TOWARDS A JUST AND EQUITABLE CLIMATE EMERGENCY RESPONSE

Session I: Human needs-based transformative innovation

29 September
10:00 UTC+2

[ここに登録](#)

12:00 - 13:00 CEST

セッション II: 変化の原動力としての研究課題

国連などの国際機関が設定したグローバルなアジェンダは、気候変動、貧困、不平等などの主要なグローバル課題に取り組むための枠組とビジョンを提供します。しかし、これらのグローバルアジェンダは、地域レベルで実施する上で独自の課題をもたらします。

このセッションに参加して、都市や地方自治体がグローバルアジェンダを効果的な指針として活用する方法をどのように見つけるかについて詳しく学びましょう。

ONLINE EVENT

RESEARCH & INNOVATION TOWARDS A JUST AND EQUITABLE CLIMATE EMERGENCY RESPONSE

Session II: Research agendas as a driving
force for change

29 September
12:00 UTC+2

[ここに登録](#)

前回のバーチャル フォーラム イベントを見逃しましたか？

録画をチェックしてください！

行動を促す: 気候変動に関するコミュニケーションのためのツールとインスピレーション



このイベントのハイライトは以下の通りです。

「気候変動やサステナビリティの取り組みについて、想定しているオーディエンスに、彼らが実際にいる場所よりも遠くにいるような方法で伝えても、彼らが今いる場所で出会ったときほどには響かないだろう。」

- アリエル デコヴィッチ氏、ICLEI 世界事務局、グローバル コミュニケーション責任者

「私は「And Factor」について言及するのが好きです。それは、目的の定義、対象読者の特定、メッセージの伝達方法の決定、コミュニケーション・プラットフォームの選択、責任の明確化など、従来の枠組みを超えた検討事項が追加される。」

- アンジェラ・ペナ氏、米国・フォートコリンズ市、シニア・サステナビリティ・スペシャリスト

「私たちは、このプロジェクト(気候行動計画)の初期段階を通じて人種平等の視点を導入することで、市がコミュニティのあらゆる層と関わりを持ち、提案されたアップデートが有色人種のコミュニティに不釣り合いな影響を与えないようにするに述べた。」

- ニコール・グルッキー氏、米国・ハイワード市公共事業・公共事業部シニア持続可能性スペシャリスト

持続可能で手頃な価格の住宅をすべての人に？ 建物の社会的に公正な脱炭素化に関する
学界と実践からの洞察



このイベントのハイライトは、以下の通りです。

「住宅の緑化や改築に取り組む政策は、社会的公平性や包括性の方策と連携する必要があります、そうしないと社会領域にリスクが生じます。」

- イバン・シックス氏、メトロポリタン研究所マネージング・ディレクター

「私たちは都市の政策決定に対する民主的でボトムアップのインプットを強化する必要があります。そうしないと、市政が変わったときに、脱炭素化で築いたプロセスを失うことになります。」

- ユリア氏、ジャカルタ現地研究員 - IHRB 建築環境

小島嶼開発途上国におけるレジリエンスの構築：コミュニティ中心のアプローチ



このイベントのハイライトは、以下の通りです。

「小島嶼開発途上国の成長と地位は危険な状態にあります。一つの衝撃が彼らを再び挑戦の場へと押し戻す可能性があります。」

- ロナルド・ジャクソン氏、UNDP 危機局、防災・建築レジリエンス回復担当部長

「キリバスのような国で私たちが気づいたことは、それは災害(ショック)というよりも、ゆっくりと信仰するストレスの方がはるかに重要だということです。水不足、徐々に暑さの増加などのストレスについて話し始めると、コミュニティは本当に保全されるようになる。—そうすれば、地域住民と一緒に自然保護に取り組むことができます。」

- スティーブ・ゴラー氏、ICLEI オセアニア地域ディレクター

「大きな声や大規模なグループに集中すると、こうした小規模なグループの具体的なニーズに対応できないことがある。小規模なグループは(災害)出来事に対して、より脆弱でありながら、場所的な

問題や、簡単にアプローチできるような強力な協同組合コミュニティがない、インターネットへのアクセスに見られるような接触もないことなどにより、彼らと協力することが難しくなる...

そのため、これらの声を [金融商品] のプロセスに反映させる努力を、さまざまなプロジェクトの実施に携わる人々が行う必要があります。

- ジェニファー・フィリップス氏、グローバル・シールド事務局アドバイザー

録画を見る

最新情報を入手してください。

[LinkedIn](#) を通じてコミュニティと交流しましょう！ 私たちをフォローして最新情報を入手し、同じ考えを持つコミュニティのメンバーとつながりましょう。



毎年開催される Daring Cities から提供される何百もの [セッションやリソース](#)をお見逃しなく。

都市や地域が地球規模の気候変動アジェンダやその他の地球規模の持続可能性プロセスにどのように取り組んでいるかについての最新情報を定期的に入手したいですか? 地方自治体ニュースレターを [購読してください!](#)



Daring Cities 2023 は、ボン連邦市、ノルトライン ヴェストファーレン州 (NRW)、ボン貯蓄銀行 国際対話財団、およびドイツの連邦経済協力開発省 (BMZ) からの大規模な寄付によって支援されています。

ご質問やサポートがございましたら、daring.cities@iclei.org まで電子メールでお問い合わせください。



Copyright © 2023 ICLEI - 持続可能性を目指す地方自治体。無断転載を禁じます。

これらのメールの受信方法を変更したいですか? 設定を更新したり、このリストの購読を解除したりできます